同志社女子大学今出川講座

明治から未来へ

― 京都における文化財と教育の軌跡 ―

日　時

2026
3/22（日）
14：00開会
（13：30開場）

場　所

同志社女子大学
今出川キャンパス 楽真館R401教室

京都市上京区今出川通寺町西入

- 京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅③出口より東へ徒歩約5分
- 京阪本線「出町柳」駅③出口より西へ徒歩約10分

駐車場はございませんので、公共交通機関にてご来場ください。

参　加

無 料　要事前申込み・定員250名

申込みはこちら

※定員に達し次第、申込み受付を終了いたします。

［ご参加にあたり、特別な配慮をご希望の方は、下記［お問い合わせ］までご連絡ください。］

第一部　14：05 ～ 15：05

同志社女子大学の原点をたどる
― 150年の歩みと女性たちの挑戦 ―

山下智子（やましたともこ）　同志社女子大学 現代社会学部 社会システム学科　教授

2026年、同志社女子大学は創立150周年を迎えます。本学のルーツは、1876年10月24日に、女性宣教師のA.J.スタークウェザーが、新島襄・八重、J.D.ディヴィス、山本覚馬らと協力し始めた女子塾にあります。女子塾は「京都ホーム」とも呼ばれ、当初、京都御苑内ディヴィス邸（旧柳原邸、現在の京都迎賓館のあたり）の一角が用いられました。この講座では、本学のルーツや当時の女性たちの活躍について、ご一緒に確認し、様々な思いがけない出来事の中でも、軸をしっかりと持ち、それぞれの人生をこころ豊かに歩むヒントを見出したいと願います。

第二部　15：20 ～ 16：20

文化財から読み解く 明治の京都

麻生美希（あそうみき）　同志社女子大学 生活科学部 人間生活学科　教授

同志社大学のキャンパス内には、5棟の重要文化財が存在します。また、今年の夏に琵琶湖疏水の諸施設が、近代の土木構造物として初めて国宝に指定されました。これらの文化財は、東京への遷都によって一時は衰退の危機にあった京都が、近代都市として再生・発展していく過程を今に伝えています。これらの近代化遺産を手がかりに、それぞれの建造物が持つ価値や、そこから見えてくる近代京都の姿を読み解きます。あわせて、こうした歴史的資産を未来へとつなぐ、文化財を活かしたまちづくりの可能性についても考えていきます。

同志社女子大学
Doshisha Women's College of Liberal Arts, Founded in 1876

お問い合わせ
同志社女子大学広報部広報室広報課
TEL：0774-65-8631
E-mail：koho-t@dwc.doshisha.ac.jp
受付時間　（平日）9：00～17：00（11：30～12：30に閉室）